

# NGOベトナムの子ども達を支援する会



## 授賞団体紹介

○代表者：会長 関谷 滋 氏

○活動歴：

- ・平成2(1990)年 4月30日～ ベトナムベンチェ省の障がいのある子ども達の支援のためにNGOベトナムの子ども達を支援する会を設立  
以降、障がい児学校と病院の建設、村診療所の医療機材提供に取り組み、資金面での協力とあわせて、村々で障がい児の診察活動を開始
- ・平成10(1998)年 ベンチェ省保健局へ母子健康手帳の使用を提案（平成16(2004)年には省内全村で使用）
- ・平成15(2003)年 ベトナム大統領友好勲章を受章
- ・平成28(2016)年 障がい幼児用の早期介入センターの設置
- ・～現在 現地からの要請もあり、障がいのある子ども達のための医療、教育及び地域での人材養成を主な活動としている

## 授賞理由

ベトナムの国や地方政府に働きかけ、日本発の「母子健康手帳」制度をベトナム国内に普及させた。また、障害児に対して、建物の建設等のハード面のみならず、研修を通じた人材育成等のソフト面の取り組みも意義深く、今後の発展性や持続性も期待できる。

さらに、ベトナム総領事館が堺市にあることや、近畿圏である京都市に所在する団体であるため、堺市民が身近に感じ、意識や行動の変容に大きく寄与するものとして高く評価する。

## 授賞団体のことば

### 活動のきっかけ

30年前、当会事務局長である板東は、京都市特別支援学級の教員をしていました。「海外の障がいのある子ども達の実情を知りたい」と1990年3月ベトナムベンチェ省を訪問しました。ベトナム戦争終結後15年を経ても電気もなく、医療設備も不足する厳しい環境の中で、懸命に生きている4人の障がいのある子ども達やご家族に会う事ができました。加えて、自らの給与を出し合い、その子ども達に学校を建設したいと計画していたベンチェ省行政幹部の方々の熱意に、深く心を動かされました。私達にもできることはないかと考える中で、障がいのある子ども達のために、学校建設協力資金を集め始めたことが、当会設立のきっかけでした。

### 目的やこれまでの取り組み

設立当初は、ベンチェ省立障がい児学校建設・設備・備品提供に続き、省立病院小児科やリハビリ科建設・設備・備品提供、そして省内約3分の1の村診療所へ母子保健機材の提供、リハビリ用機材を備えたリハビリルーム開設などハード面の協力が続きました。1998年には日本発祥である母子健康手帳の導入を提案し、ベンチェ省で活用されています。その母子健康手帳制度は、その後、ボトムアップでベトナム政府保健省事業となり、今年から全国展開されています。

そして、現在は、現地の要望により、医療分野（ハイリスク新生児ケア、小児救命救急ケア、小児腎臓疾患ケア、リハビリテーション）、教育分野（早期療育センター開設、障がい児学校・幼稚園・特別支援学級設置に向けた一般小学校教員研修）、地域分野（障がい者重度あるいは幼いという理由で、在宅状況の子ども達のために各集落で活動する地域保健管理員の研修）という3分野で、研修資料作成や技術協力を実施しています。



ベトナム保健省が  
作成した2020年版全国用母子健康手帳



省立病院リハビリ科研修会



## 大切にしていることや将来の展望

ベンチェ省はメコンデルタにあり、唯一他省と陸続きではない貧しい省でした。現地では、以前から「子ども達は未来をつくる大切な存在」として位置づけ、次々と新規事業提案がされ、当会も協働してきました。最近では、省の経済的な発展に伴い、私達は、ソフト面の協力へ移行しています。「地域に根ざしたりハビリ」として、地域住民と共に、縦割り行政の壁を越えて、関連局が一体化して活動されるベンチェ省の熱心さに、学ばせていただくことがとても多く、「援助する側・される側という関係性」は皆無です。「自分の命は何のために使うのか、どのように人とつながって事業をするのか」など学ばせていただいたことは、数知れません。

2019年、一般校における特別支援学級制度の提案を行い、ベトナム政府教育研修省の指導や、ベンチェ省主導の下に、パイロット校設置の技術協力を行いました。これが順調に進めば、将来ベトナム全土に普及される、2つ目のボトムアップとなることが期待されています。

## 授賞の感想や授賞団体にとっての賞の意味

30年間続いたベトナム戦争で疲弊したベンチェ省に、私達は1990年から30年間、毎年複数回訪問し、その復興・発展過程を見てきました。「戦争は障がいのある人達をうみ出す大きな要因ですが、平和は障がいのある人達をも社会の一員として受け入れて、共に新しい未来を作ること」だということを、私達はベンチェ省の方々から、30年間の活動を通じて学ばせていただきました。この栄えある自由都市・堺 平和貢献賞を、平和の尊さをよくご存じのベンチェ省の皆様と共に噛み締め、これからの子ども達の未来の糧としていきたいと思っています。

### 堺市の思い

現在は、ベトナムのベンチェ省を中心に、障害のある子どもたちに継続的な支援をしています。

母子健康手帳という日本発の子どもを守る考え方を、ベトナムに普及し、子どもたちを支援するという取り組みからは、学ぶことが多くあります。

